

ボーリング柱状図

調 査 名 西片江493号線地質調査業務委託

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.3				調査位置		福岡市城南区西片江2丁目地内					北緯	33° 32' 34.2"						
発注機関	福岡市城南区地域整備部地域整備課						調査期間		平成23年11月19日～23年11月21日				東経	130° 21' 46.6"					
調査業者名	九研地質株式会社 電話(092-271-4027)				主任技師		山之内 洋伸		現場代理人		石崎 陽		コ鑑定者		隈本 良介		ボーリング責任者	穴井 和成	
孔口標高	+40.00m		角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機		東邦D0-D号		ハンマー落下用具		コーンプーリー			
総掘進長	10.00m									エンジン		NFD-10		ポンプ		BG-3C			

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對密度	相對稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験							原位置試験		試料採取			室内試験()	掘進月日
											深 度 (m)	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)		N 値	深 度 (m)	試 験 名 および結果		深 度 (m)	試料番号	採取方法	
												0	10	20	30									
1					盛土(シルト質砂)	淡褐	非常に緩い		シルト質細砂(まさ土)による盛土。上部10cmは腐植物により黒褐色を呈す。		1.15	1/15	1/15	2/30	2						1.15	P-1	物理	
2	37.60	2.40	2.40								1.45										1.45			
3					盛土(シルト質砂)		非常に緩い		やや含水の多いシルト質細砂による盛土。		2.15	1	1	1	3/30	3								
4											2.45													
5											3.15	1	1	2	4/30	4					4.15	P-2	物理	
6	33.40	4.20	6.60								3.45										4.45			
7	33.00	0.40	7.00		強風化花崗岩	灰～淡褐灰			辛うじて岩組織を残す強風化部。指圧でシルト質砂状となる。	11/21 6.90	4.15	1	2	1	4/30	4					4.45			
8					風化花崗岩	淡灰			深さ7.00～7.55m間は、土砂部分を挟む岩片～円盤状コアを呈す。深さ7.55mより長柱～棒状コアを成すが、指圧で岩片～円盤状に碎ける脆い部分を挟む。深さ7.55～7.90m、8.75～8.95m間は、堅硬緻密なコアを呈す。		4.45													
9											5.15	1	2	1	4/30	4								
10	30.00	3.00	10.00								5.45													
11											6.15	2	1	1	4/30	4								
											6.45	50			50/10	150								
											7.15													
											7.25													
											8.10	50			50/10	150								
											8.20													
											9.00	50/5			50/5	300								
											9.05													
											10.00	貫入不能			50/0									
											10.00													

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。